

ESOMAR&各国協会連絡会議
2018年5月31日
議事録

参加者：John Smurthwaite (APAC Ambassador), Alessandra Frisso (ASBPM), Leonie Vorster (SAMRA), Philippe Guilbert (Syntec), Patricio Pagani (SAIMO), Kim Smouter (ESOMAR), Dominique Servant (Chair), Jan Willem Knibbe (ESOMAR)

1) 連絡会議の優先課題：

a) 知識ハブ (Knowledge hub)

リーダー：Dominique Servant & Patricio Pagani

ESOMAR は現在、国別ページの最終工程に取りかかっています。そこには各国の協会に関する情報及び協会が発信する情報が掲載されます。これらのページの初版を ESOMAR 大会時の連絡会議にて提示する予定に変更はありません。

b) 「リサーチ・ゴット・タレント」 (Research got talent)

リーダー：Pravin Shekar & Alessandra Frisso

現在、「リサーチ・ゴット・タレント」大会はインドで開催中です。インドからの初期案が届いています。理想としては、8月までにそれが完了し、ESOMAR 大会に間に合う事です。現在、Pravin 氏が Chris Farquhar 氏と協力してより多くの協会の協力を求めています。

その間に Alessandra 氏はブラジルで若者たちにアプローチし、業界へ深く関わることを促しています。

ブラジルでは若者にアプローチをかけ、業界への関わりを促すグループを結成しました。ブラジルでどのようすればうまく働くかはまだ模索中です。

c) プロジェクト SERENE (Project SERENE)

リーダー：Kim Smouter & Bianca Marcu

SERENE は最終テスト段階に入りました。クレームを申し立てた人と回答者の両方がクレームのステータスを追跡できるようになりました。協会はクレーム管理に関してよりコントロールできるようになりました（例：専門家の任命）。今後の数週間で質問モジュールの準備も整う予定です。

d) 綱領の採用と承認

リーダー：Jan Willem Knibbe, Dominique Servant & Kim Smouter

下記の表に、2007 年度及び 2017 年度の綱領承認数をまとめました。より多くの協会が各国独自の綱領を開発していることが、ICC/ESOMAR 綱領を承認している協会の数の増加に反映されています。

	2007	2017
承認	5	15
採用	62	42
合計	67	57

なお、ここ 10 年間でいくつもの協会が解散（例：イスラエル）、合併（例：ニュージーランド）及び構造改革（例：クロアチア）されている事に留意すべきです。この事実を踏まえると、2007 年と 2017 年の数値は直接比較できません。

地域による差異：

- アフリカ：新しい協会の出現により、採用数と導入数も増加しました。
- 南北アメリカ：2007 年度の数値に比べるとまだ遅れをとっていますが、2018 年の LATAM 会議以降、数値が上昇しています。留意して頂きたいのは、米国の協会にはその地域で表明されている過敏性を考慮して、再接触していないことです。
- アジア太平洋：ESOMAR の APAC 大使 John Smurthwaite 氏の多大なるご協力のおかげで、2007 年度のレベルを取り戻しました。
- ヨーロッパ：2007 年度の綱領と同等のレベルですが、まだ返答を頂いていない協会が 9 つあります。

e) パートナーシップ契約

リーダー：Jan Willem Knibbe, Dominique Servant & Kim Smouter

綱領の採用及び承認が再び軌道に乗ったので、今後数週間でパートナーシップ契約を結ぶための電話対応を再開する予定です。協会連絡会議はパートナーシップ契約がかなり複雑であることを強調し、協会担当者に直接代表がお会いして説明するのがベストのアプローチだと考えています。

2) 大会時の協会代表者会議 9月23日

a) 新しいフォーマット

バンコクで開催された APAC 会議にてパイロットが成功を収めたので、本大会でも各国代表者と協会代表者の会議を完全に統合する事になりました。合同会議の後、ESOMAR 関連のアップデートを取り上げる協会代表者のみの会議が午後開催されます。

現在のプログラムは下記の通りです：

- 8h30: コーヒー
- 9h00: 午前のセッション
- 12h30: ランチ
- 13h30: 午後のセッション
- 14h30 又は 15h00: クローズ

希望としましては、ドイツの協会と大会を共催し、プラットフォームを提供する事です。こちらについては 6 月に Kim 氏がドイツの協会と話し合う予定です。

b) 整理され、話し合われるテーマ：

大会時の会合に向けて協会連絡会議が興味のある以下のトピックをまとめました：

- GDPR 行動規範
- AI の開発とそれが市場調査に及ぼす影響
- 若年者を惹き付ける方法
- MR の問口の広げ方（特に倫理・道徳と綱領に関連したもの）
- 協会に新しいビジネスモデルは必要なのか？需要はあるのか？

このリストから 3 つのトピックが選ばれ、午前に 2 つ、午後に 1 つのセッションを開催します。関与度を増加させるためには、トピックに携わった協会からの貢献でセッションを始めてもよいかもしれません。募集の案内は招待状メールと一緒に送らせて頂きます。

3) その他の議題

連絡会議とは別に、その地域に関連性の高い議題について深く掘り下げる事のできる局所的なセッションをいくつか編成する事が提案されました（例：ラテンアメリカでの世論調査など）。

以上